



ALLIANCEBERNSTEIN®

交付運用報告書

アライアンス・バーンスタイン

グローバル・ハイ・イールド・ポートフォリオ 米ドル建て クラスJ証券

ルクセンブルグ籍オープン・エンド契約型外国投資信託(米ドル建て)

作成対象期間 第23期(2019年9月1日~2020年8月31日)

第23期末	
クラスJ証券 1口当たり純資産価格	3.97米ドル
純資産総額	20,280,358,505米ドル
第23期	
クラスJ証券 騰落率	-1.99%
クラスJ証券 1口当たり分配金額	0.2400米ドル

(注1)騰落率は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算しています。端数調整方法の違いにより、月次報告書に記載の騰落率とは異なる場合があります。以下同じです。

(注2)1口当たり分配金額は、税引前の1口当たり分配金額を記載しています。以下同じです。

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、アライアンス・バーンスタイン(以下「トラスト」といいます。)-グローバル・ハイ・イールド・ポートフォリオ(以下「ファンド」といいます。)-は、このたび、第23期の決算を行いました。

ファンドの投資目的は、主として米国および新興市場諸国を含む世界中の高利回り債券に投資することにより、高水準のインカム収入の確保とともに、トータル・リターンを獲得することです。当期につきましても、それに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

代行協会員

アライアンス・バーンスタイン株式会社

管理会社

アライアンス・バーンスタイン・ルクセンブルグ・エス・エイ・アール・エル

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重大なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

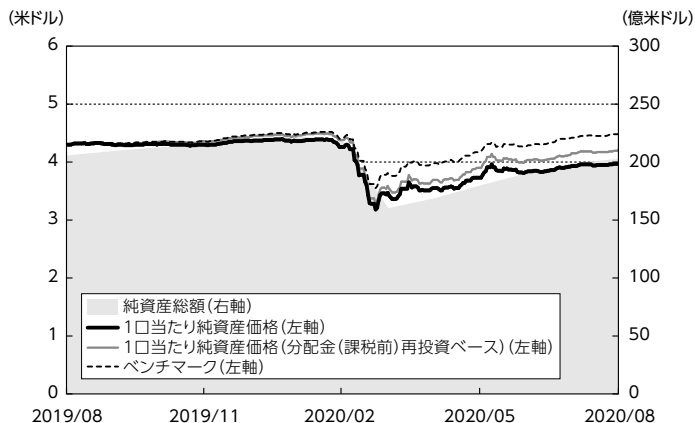
○運用報告書(全体版)は、受益者の皆様からのご請求により書面で交付されます。書面での交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

○運用報告書(全体版)は、アライアンス・バーンスタイン株式会社のホームページ(URL <https://www.alliancebernstein.co.jp/>)にて閲覧・ダウンロードいただけます。

《運用経過》

当期の1口当たり純資産価格等の推移について

(クラスJ証券)



第 22 期末の1口当たり純資産価格：	
クラス J 証券	4.30 米ドル
第 23 期末の1口当たり純資産価格：	
クラス J 証券	3.97 米ドル
(分配金額：0.2400 米ドル)	
騰落率：	
クラス J 証券	-1.99%

(注1) 1口当たり純資産価格(分配金(課税前)再投資ベース)は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。以下同じです。

(注2) 1口当たり純資産価格(分配金(課税前)再投資ベース)およびベンチマークは、第22期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。

(注3) グラフ中の純資産総額は、ファンドの純資産総額を表示しています。

(注4) ファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注5) ファンドのベンチマークは、ブルームバーグ・パークレイズ・グローバル・ハイ・イールド・インデックス(米ドルヘッジ)です。ベンチマークの詳細は、後記「ベンチマークについて」をご参照ください。以下同じです。

■1口当たり純資産価格の主な変動要因

上昇要因

- ・保有債券の利息収入
- ・保有する高利回り社債や投資適格社債などの価格上昇

下落要因

- ・保有する資産担保証券などの価格下落

■ベンチマークについて

ブルームバーグ・パークレイズ・グローバル・ハイ・イールド・インデックス(米ドルヘッジ)は、世界の高利回り債券市場のパフォーマンスを示す指数です。

当資料で使用している指数等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属します。

費用の明細

(クラスJ証券)

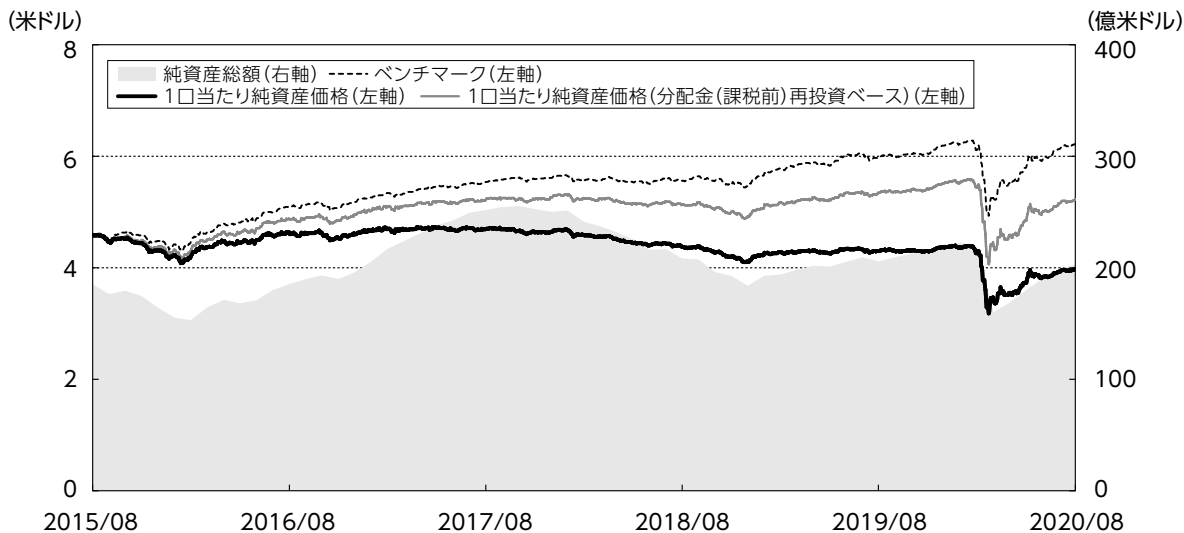
項目	項目の概要	
管理報酬 ^(注2)	<p><ファンドの純資産が150億米ドル以下の部分> ファンド証券の日々の純資産総額の平均額の年率1.45% (上限)</p> <p><ファンドの純資産が150億米ドル超の部分> ファンド証券の日々の純資産総額の平均額の年率1.25% (上限)</p> <p>(管理報酬には、投資顧問報酬、販売取扱報酬、代行協会 員報酬が含まれます。)</p>	ファンド資産の投資運用業務、口座内での ファンドの管理および事務手続き、運用報 告書等各種書類の送付、購入後の情報提 供等、ならびにファンド証券1口当たり純 資産価格の公表および目論見書・運用報 告書等の各種書類の配布等の業務
販売報酬	ファンド証券の日々の純資産総額の平均額の年率1.00%	ファンドのクラス証券に関するファンドに 対する販売関連業務
管理会社報酬	ファンド証券の日々の純資産総額の平均額の年率0.10%	ルクセンブルグのファンド運営および 主要な管理に関して提供される業務
保管報酬	管理事務代行報酬、保管報酬および名義書換代行報酬 は、ルクセンブルグの一般的な慣行に従い、ファンドの資 産から支払われます。当該報酬は、資産ベースの報酬と 取引費用の組み合わせです。管理事務代行報酬、保管報 酬および名義書換代行報酬はファンドの純資産総額に基 づいて計算される年率1.00%を上限とする額とします。 (保管報酬には、別途請求される取引銀行費用、その他税 金、仲介手数料(もしあれば)および借入利息は含まれま せん。)	ファンド資産の保管業務
管理事務代行報酬		管理事務代行業務
名義書換代行報酬		登録・名義書換事務代行業務
その他の費用 (当期)	0.30%	スワップに係る費用、税金、専門家報酬 (弁護士費用および監査費用)、印刷費、 支払利息等

(注1) 各報酬については、目論見書に記載の料率を記しています。「その他の費用(当期)」には、運用状況等により変動するものや実費となるものが含まれます。便宜上、当期のファンドの全クラス証券についてのその他の費用の金額をファンドの当期末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

(注2) 管理報酬の年率につきましては本書「お知らせ」をご参照ください。

最近5年間の1口当たり純資産価格等の推移について

〈クラスJ証券〉



	第18期末 (2015年 8月末日)	第19期末 (2016年 8月末日)	第20期末 (2017年 8月末日)	第21期末 (2018年 8月末日)	第22期末 (2019年 8月末日)	第23期末 (2020年 8月末日)
1口当たり純資産価格 (米ドル)	4.59	4.61	4.69	4.37	4.30	3.97
1口当たり分配金合計額 (米ドル)	—	0.2443	0.2498	0.2400	0.2400	0.2400
騰落率 (%)	—	6.12	7.33	-1.79	4.07	-1.99
ベンチマーク騰落率 (%)	—	10.99	8.70	0.34	7.45	4.17
純資産総額 (千米ドル)	18,500,106	18,525,548	25,174,659	20,825,255	20,563,305	20,280,359

(注1) 1口当たり純資産価格(分配金(課税前)再投資ベース)およびベンチマークは、第18期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。

(注2) グラフ中の純資産総額は、ファンドの純資産総額を表示しています。

投資環境について

米国国債市場は、2019年9月から12月にかけて金利はやや上昇(価格は下落)基調で推移したものの、2020年2月中旬から3月上旬にかけては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により経済活動の停滞懸念が高まったことで急速に金利は低下(価格は上昇)しました。その後は、減税や景気刺激策への期待を背景に金利が一時的に上昇する局面があったものの、おおむね横ばいで推移しました。

ドイツ国債は、2019年9月から2020年1月中旬にかけて金利は上昇基調で推移しました。しかし、3月上旬にかけては新型コロナウイルスの世界的な感染拡大懸念が広がり、金利は急速に低下しました。その後いったん反発した後、4月末にかけては原油価格が一時的に急落したことやイタリアなど財政基盤が脆弱な欧州南部諸国の経済崩壊懸念などを受け金利は再び低下しました。その後8月にかけては、一進一退の展開となりました。

米国高利回り社債市場は、2019年9月から2020年2月中旬にかけては、堅調な欧米の株式市場を受けリスク選好の流れから緩やかに上昇しました。しかし3月に入ると、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大懸念を背景に投資家心理が悪化し急落しました。3月下旬以降は反発し、8月にはパンデミック前の水準まで回復しました。

ドル建てエマージング債市場は、2019年9月から2020年3月上旬にかけては上昇基調で推移したものの、その後は新型コロナウイルスの世界的な感染拡大懸念や原油価格の下落などを受け急落しました。3月下旬以降は反発し、8月にはパンデミック前の水準まで回復しました。

ポートフォリオについて

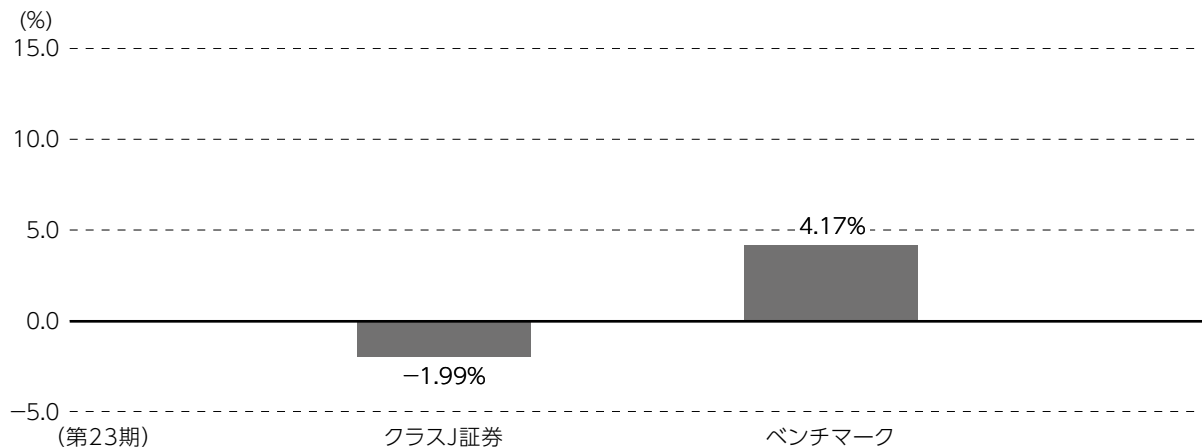
ファンドは、主として米国およびエマージング諸国を含む世界中の高利回り債券に投資することにより、高水準のインカム収入の確保とともに、トータル・リターン の獲得を目指します。運用にあたっては、当期も引き続き、計量分析とファンダメンタル分析に基づき、魅力的であると判断した債券セクターや銘柄への投資を行いました。

その結果、セクター配分においては、高利回り社債、外貨建エマージング債、国債などが上位となりました。

ベンチマークとの差異について

以下のグラフは、ファンドのクラスJ証券の分配金再投資1口当たり純資産価格とベンチマークの騰落率の対比です。

〈クラスJ証券の分配金再投資1口当たり純資産価格とベンチマークの対比〉



クラスJ証券とベンチマークの騰落率の差異の状況および要因について

ベンチマークとの比較では、商業用不動産担保証券 (CMBS) を高めの組入れとしたセクター配分が主なマイナス要因となったほか、投資適格社債における銘柄選択もマイナス要因となりました。一方、米国国債におけるイールドカーブ戦略や、エジプトポンドを高めの組入れとした通貨配分はプラス要因となりました。

分配金について

当期(2019年9月1日～2020年8月31日)の1口当たり分配金(課税前)はそれぞれ下表のとおりです。なお、下表の「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」は、当該分配落日における1口当たり分配金額と比較する目的で、便宜上算出しているものです。

(クラスJ証券)

(金額:米ドル)

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金額 ^(注1) (対1口当たり純資産価格比率 ^(注2))	分配金を含む1口当たり 純資産価格の変動額 ^(注3)
2019年 9月30日	4.30	0.0200 (0.46%)	0.02
2019年10月31日	4.31	0.0200 (0.46%)	0.03
2019年11月29日	4.30	0.0200 (0.46%)	0.01
2019年12月31日	4.36	0.0200 (0.46%)	0.08
2020年 1月31日	4.36	0.0200 (0.46%)	0.02
2020年 2月28日	4.26	0.0200 (0.47%)	-0.08
2020年 3月31日	3.47	0.0200 (0.57%)	-0.77
2020年 4月30日	3.55	0.0200 (0.56%)	0.10
2020年 5月29日	3.73	0.0200 (0.53%)	0.20
2020年 6月30日	3.82	0.0200 (0.52%)	0.11
2020年 7月31日	3.93	0.0200 (0.51%)	0.13
2020年 8月31日	3.97	0.0200 (0.50%)	0.06

(注1) 「1口当たり分配金額」には分配落日における1口当たりの分配金額を記載しています。

(注2) 「対1口当たり純資産価格比率」とは、以下の計算式により算出される値であり、ファンドの収益率は異なる点にご留意ください。

対1口当たり純資産価格比率(%) = $100 \times a / b$

a = 当該分配落日における1口当たり分配金額

b = 当該分配落日における1口当たり純資産価格 + 当該分配落日における1口当たり分配金額

(注3) 「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」とは、以下の計算式により算出されます。

分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額 = $b - c$

b = 当該分配落日における1口当たり純資産価格 + 当該分配落日における1口当たり分配金額

c = 当該分配落日の直前の分配落日における1口当たり純資産価格

(注4) 2019年9月30日の直前の分配落日(2019年8月30日)における1口当たり純資産価格は、4.30米ドルでした。

《今後の運用方針》

世界経済は、欧米や一部の新興国で新型コロナウイルスの変異株の拡大が懸念されているものの、欧米主要諸国でワクチン接種が進み患者数の減少がみられ始めれば、停止していた経済活動も徐々に回復するとみています。過去最大級の財政政策や金融政策などが追い風となり、2021年の世界経済は大幅にプラス成長となることが期待されます。

高利回り社債については、2021年はマクロ情勢における不透明感の後退により、スプレッドの縮小が進むとみていますが、引続きボラティリティの高まりには警戒が必要です。運用にあたっては、デュレーションが短く、十分に分散されたディフェンシブなポートフォリオを維持しつつ、ファンダメンタルズ対比で割安と判断する銘柄についても選別的に組み入れる方針です。

エマージング債券については、引き続き、構造改革が進展するなど財政改善が見込める国や悪材料を十分に織り込み、価格面での魅力が出てきた国に投資妙味があると考えています。一方、対外収支の脆弱な国については慎重なスタンスとします。

ファンドは、引き続きリスク分散や利回り水準にも配慮し、各セクターに十分に分散されたポジションを維持する方針です。

《お知らせ》

2021年1月1日付で、クラスJ証券の管理報酬水準および年率は、以下の表のとおり変更されました。

2020年12月末日まで		2021年1月1日より	
純資産水準 50億米ドル以下の部分	純資産水準 50億米ドル超の部分	純資産水準 150億米ドル以下の部分	純資産水準 150億米ドル超の部分
1.70%	1.50%	1.45%(上限)	1.25%(上限)

※純資産水準はポートフォリオの純資産の合計を表すことにご留意ください。

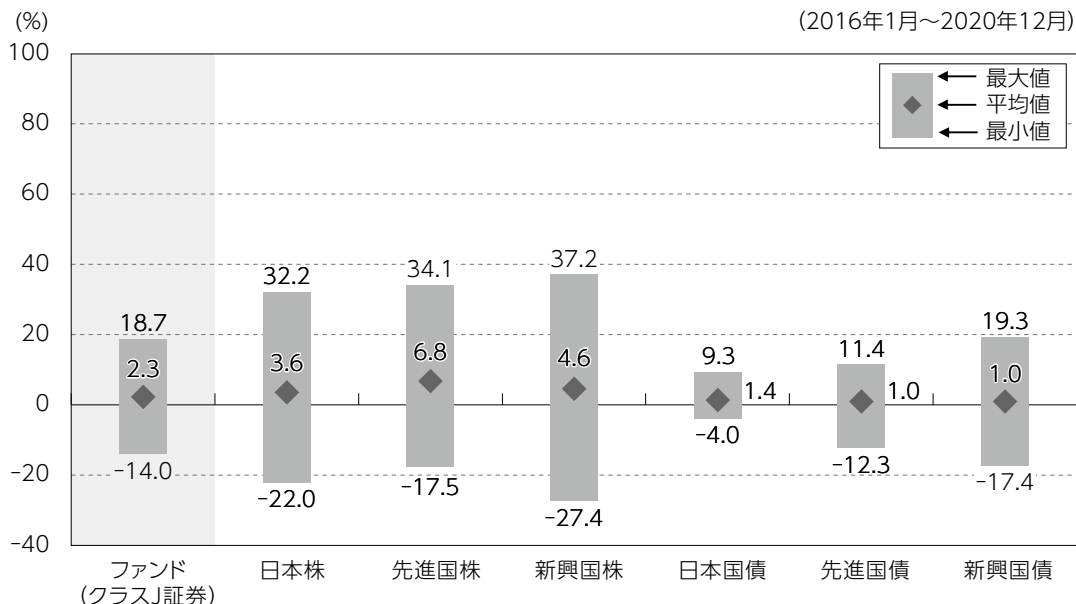
《ファンドの概要》

ファンド形態	ルクセンブルグ籍オープン・エンド契約型外国投資信託(米ドル建て)
信託期間	ファンドの存続期間は無期限です。 ※ただし、管理会社は、ファンドをいつでも解散させることができます。
運用方針	主として米国および新興市場諸国を含む世界中の高利回り債券に投資することにより、高水準のインカム収入の確保とともに、トータル・リターンを獲得することです。
主要投資対象	ファンドは、主として、世界のハイイールド社債(非投資適格社債)、米ドル建て新興国債券、現地通貨建て新興国債券およびその他の様々な高利回り債券(投資適格社債、資産担保証券およびハイブリッド証券等)に分散投資を行います。
ファンドの運用方法	管理会社は、投資顧問会社であるアライアンス・バーンスタイン・エル・ピーにファンドの資産の運用を一任しています。 計量分析とファンダメンタル分析を融合した独自のアプローチにより、運用を行います。2つの分析手法を組み合わせることで、高い確信度をもって投資対象を絞り込み、最も効果的な債券の組み合わせを見極めてポートフォリオの構築を行います。
主な投資制限	管理会社および投資顧問会社は、ファンドに関して、主として次の投資制限に服します。 <ul style="list-style-type: none"> ● 同一国の発行体への投資は、米国の発行体への投資を除き、原則として資産の20%以下とします。 ● 同一発行体の譲渡性のある有価証券または短期金融市場商品への投資は、原則として、ファンドの純資産総額の10%を限度とします。 ● 証券取引所またはその他規制された市場において、上場または取引されていない譲渡性のある有価証券または短期金融市場商品への投資は、原則としてファンドの純資産総額の10%を限度とします。 ● トラストを構成するアンブレラ・ファンド全体で、同一発行体の同一種類の証券への投資は、当該証券の10%を限度とします。 ● 他のオープン・エンド型投資信託／投資法人への投資は、原則としてファンドの純資産総額の10%を限度とします。 ● 証券の信用取引や空売りは行いません。 ● 一時的措置による銀行からの借入を除き、金銭の借入を行うことはできません。また借入総額は、ファンドの純資産総額の10%を超えないものとします。
分配方針	管理会社は、ファンド証券に帰属する純収益の全部または実質的に全部に等しい額の分配を毎日宣言し、毎月支払う意向です。 管理会社はまた、ファンド証券に帰属する実現売却益および/または元本から、分配金を支払うか、支払う場合はどの程度の配分割合で分配を支払うかを決定します。ファンド証券に帰属する純利益および純実現益が宣言された支払額を超過する範囲において、かかる超過額はファンド証券の純資産価格に反映されます。

《参考情報》

■ファンド(クラスJ証券)と他の代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較

2016年1月から2020年12月の5年間における年間騰落率(毎月末時点)の平均と振れ幅を、ファンド(クラスJ証券)と他の代表的な資産クラスとの間で比較したものです。



- 上記グラフは、ファンド(クラスJ証券)と代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。
- 全ての資産クラスがファンド(クラスJ証券)の投資対象とは限りません。
- 上記グラフは、代表的な資産クラスについては2016年1月から2020年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を表示したものです。
- ファンド(クラスJ証券)の騰落率は、税引前の分配金を再投資したとみなして計算した騰落率であり、実際の1口当たり純資産価格に基づき計算した騰落率とは異なる場合があります。
- ファンド(クラスJ証券)の年間騰落率は、クラスJ証券の表示通貨である米ドル建てで計算されており、円貨に為替換算されておりません。したがって、円貨に換算した場合、上記とは異なる騰落率となります。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

先進国株…MSCI-KOKUSAI インデックス(配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)

(注)海外の指数は、円貨に為替換算しております。

東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

東証株価指数(TOPIX)(配当込み)は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

MSCI-KOKUSAI インデックス(配当込み、円ベース)

MSCI-KOKUSAI インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)は、J.P. MorganSecurities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

《ファンドデータ》

ファンドの組入資産の内容(第23期末現在)

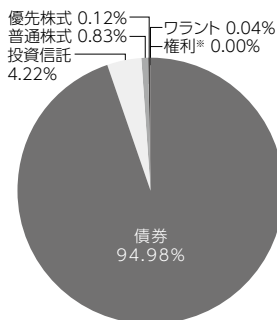
●組入上位資産

(組入銘柄数:1,331銘柄)

(上位10銘柄)	組入比率(%)
U.S. Treasury Bonds	2.40
U.S. Treasury Bonds	2.24
Brazil Notas do Tesouro Nacional Series F	2.09
U.S. Treasury Bonds	1.45
Indonesia Treasury Bond Series FR53	1.35
U.S. Treasury Bonds	1.19
Republic of South Africa Government Bond Series 2030	1.13
AB SICAV I - Emerging Market Local Currency Debt Portfolio - Class ZT	1.00
Republic of South Africa Government Bond Series 2023	0.81
AB SICAV I - Euro High Yield Portfolio - Class S	0.74

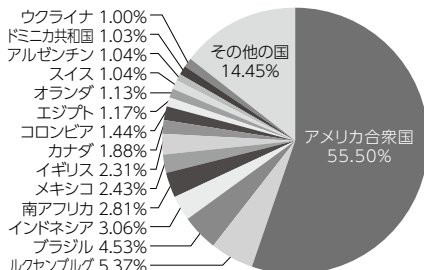
(注)組入比率は純資産総額に対する当該組入資産の評価額の割合です。なお、端数調整方法の違いのため、運用報告書(全体版)に記載の財務書類中の比率とは異なる場合があります。以下円グラフも同様です。

●資産別配分



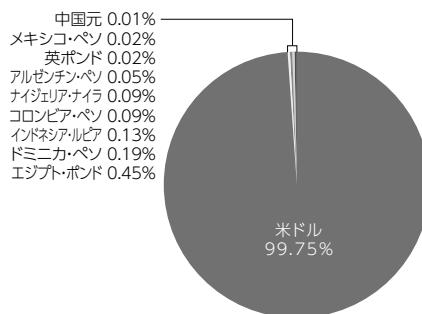
その他の資産：-0.19%
上記1項目を含みます。

●国別配分



その他の資産：-0.19%
上記1項目を含みます。

●通貨別配分



その他の通貨：-0.80%
上記1項目を含みます。

※「権利」につきましては、有価証券届出書「第二部 ファンド情報 第1 ファンドの状況 2 投資方針 (2) 投資対象 その他の投資対象 オプション、権利およびフラント」をご参照ください。

(注1)組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

(注2)上記円グラフは端数処理により全資産の比率の合計が100.00%にならない場合があります。

純資産等

項 目	第23期末
純 資 産 総 額	20,280,358,505米ドル
クラスJ証券発行済口数	5,563,293口
クラスJ証券1口当たり 純 資 産 価 格	3.97米ドル

(注) 純資産総額は、ファンドの純資産総額です。

第23期(クラスJ証券)			
販 売 口 数	買 戻 口 数	分配金再投資 による発行口数	発 行 済 口 数
179,910口 (179,910口)	264,155口 (264,155口)	739口 (739口)	5,563,293口 (5,563,293口)

(注) () の数は、本邦内における販売・買戻しおよび発行済口数です。

